

第5回総合計画審議会での議論

(日時) 令和2年10月1日(木)

午後6時30分～午後8時30分

(会場) 袋井市役所3階 301会議室

(内容) 第2次総合計画「後期基本計画」(案)協議

まちの将来像 活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市

政策1	政策2	政策3	政策4	政策5	政策6
子育て 教育	健康 医療 福祉 スポーツ	都市 環境	産業	危機管理 防犯 交通安全	協働 地域 歴史 文化 国際交流

(分野横断で取り組むべき考え方)

〇本市が掲げる普遍的理念の実現に向け、創意工夫と不断の努力を重ね、様々な新しい知見・技術を積極的かつタイムリーに取り入れ、各施策を継続的かつ柔軟にアップデートしていくとともに、分野を超えて様々な施策を連携・融合させ、総合的に取り組んでいく考え方

生涯活躍

ICT

市民の誇り

(意見等)

- 〇施策体系及び政策・取組、分野横断で取り組むべき考え方など、計画(案)は了。
- 〇分野横断で取り組むべき考え方による施策展開は、影の部分を見ながら進めていくことが重要。ICTの活用は様々な分野で利便を高めるが、一方で顔が見えるコミュニティでのつながりも大切にすべき。
- 〇自治体のプラットフォーム・ビルダー化は重要。IT化が進み生産性が高まると、時間に余裕が生まれるため、地域コミュニティの中で、縦だけでなく横で緩やかにつながりながら、いかにイノベーションで新しいものを生み出せるか、という価値観が大切になるのではないかと。ぜひ他自治体に先駆けて実現してほしい。
- 〇コロナ禍の影響でコミュニティや人と人とのつながりが薄くなってきており、こういう時こそ心を寄せ合う関係づくりが大事。住みやすいまちとは、人と人とのつながりが豊かで心が満たされるまちではないか。
- 〇計画をいかに学校や地域など、様々な場面で市民に分かりやすく伝えるか。そして、いかに身近なコミュニティなどで共創できる体制を創っていくか。計画の先にあるのは市民であり、目の前で困っている、不安な人がいる、というときに、ダイレクトに手を差し伸べることが、行政には求められているのではないかと。
- 〇スポーツを通じた地域活性化には、スポーツ界だけでなく産業など他の分野と関係を創ることが必要。
- 〇ICT教育による個別最適化と既存の教育効果、両方を組み合わせた効果の最大化を目指すことが大事。
- 〇市民力を発揮して、自助・共助をしっかりと確立し、流域全体でいのちを守るまちを創ってほしい。水害に対して脆弱であるからこそ、全県をリードしていくような気概を持ち、取り組んでほしい。
- 〇コロナ禍の影響で東京圏からの転出超過など、人の流れが変わっており、動向を注視していく必要がある。